

長岡地区租税教育推進協議会 会長賞 優秀

税金の大切さ

長岡市立越路中学校

三年 藤井 小花

私は、今まで税金は無いほうが生活が楽になると思い込んでいました。ですが、税金について学び、考え方が大きく変わりました。

小・中学生は義務教育だから授業料はかからないと思っていましたが、中学生で一〇五万円もかかっていたり、教科書代もかかっていたりすることを知りおどろきました。私達の将来のために税金が使われているのだと思い、税金のありがたさを感じました。近年日本はどんどん少子高齢化が進んでいて、社会保障の負担が大きくなってきていますが、税金でその負担を支えている面もあるということが分かり、これからの生活を安定させていくためには税金が必要なんだと思いました。

税の仕組みには、国税と地方税という二種類の税があります。どちらも私たちの生活に必要なものです。国や公共団体では、私たちが健康で文化的な生活を送るため、いろいろな仕事を行っています。個人ではできない仕事のため、多くの費用が必要に

なります。それを税金が負担しているのです。個人ではなく、みんなが幸せになる方法として税金が使われているんだなと思いました。

新潟では雪が多く、登下校が非常に大変です。私は徒歩で登下校しているので、雪が積もっていると長靴に雪が入ってきてしまつて困ります。ですが、朝早くから地域のために除雪してくれる人がいるので、とても助かっています。その除雪にも税金が使われていると知り、税金の良いところがどんどんできてくるようになりました。私たちが除雪をしたり道路や橋を修理したりするくらい大きな費用をだすことができない分、税金が賄ってくれているのです。

他にも医療介護に税金が使われています。健康診断や予防接種、高齢者が安心して豊かに暮らすことができるためのサービスの費用を税金が負担しています。私たちが健康を保っている理由の一つに入っていると思いました。

消費税が10%になり、高いと感じていましたが、少子高齢化の問題でもある社会保障の負担を軽減し、より充実した暮らしを実現させるためだということが分かり、納得しました。

私みたいに、税金は必要ないのではないかとか、税金があることで国民の負担が増えているのではないかと考えている人に、税金のメリットを知ってほしいです。